

“ふじのくに静岡県”の統計情報の利活用について

企画広報部 統計利用課

はじめに

統計情報は、社会生活や経済環境等の変化に的確に対応していくために欠かすことのできない重要な役割を果たしています。このため、静岡県では、「統計情報を県民に分かりやすく提供すること」を施策展開の主な目的に位置付け、統計の利活用を促進しています。

統計調査の結果については、県民の利便性を図るために、報道提供や県統計情報ホームページ「統計センターしずおか」などで速やかに公表しています。

また、静岡県統計年鑑や県勢要覧をはじめ、各種の統計刊行物等を発行し、県民サービスセンターや県総合庁舎等に配架し、閲覧できるようにしています。

このほか、子どもの頃から統計に親しみ、理解を深めてもらうために小・中学生などを対象に「県統計グラフコンクール」を主催しています。

さらに、統計キッズページ「グラフ博士のとうけい工場」を開設するとともに、県教育委員会と連携して「静岡県の授業づくり指針」に「統計センターしずおか」や、静岡県が日本一のものを集めた「My しずおか日本一」を学習教材として紹介しています。

1 統計センターしずおか

○ 概 要

県民に必要な統計情報をインターネットを活用して速やかに提供するため、県統計情報ホームページ「統計センターしずおか」を平成13年3月から開設しています。

平成24年2月には、システムを全面的にリニューアルし、検索機能やアクセシビリティなどの操作性の向上を図るとともに、サーバをクラウド化して、行政事務を効率化しました。また、データは、加工や分析がしやすいようにエクセルファイルで掲載しています。

この「統計センターしずおか」の登録統計データ数は平成25年10月末現在で約10,600件あります。平成24年度の年間アクセス数は約81万件に上り、平成25年度には、さらに増加する傾向にあります。



統計センターしずおかトップページ

○ 統計キッズページ

子どもたちに統計を身近に感じてもらうため、「統計センターしずおか」のリニューアルにあわせて、統計キッズページ「グラフ博士のとうけい工場」を平成24年2月に開設しました。

毎年、夏休みに行われる「統計グラフコンクール」の作品の作り方や、統計情報をグラフを使って分かりやすく解説した「グラフで見よう静岡県」など、多彩なコンテンツで構成されているため、子どもたちの学習教材として幅広く活用されています。



グラフ博士



check

静岡県の統計データについて勉強できます。



check

統計グラフコンクールの作品の作り方



check

統計に関するクイズに挑戦できます。

2 統計刊行物の発行

○ 概要

統計調査の結果については、総合統計書の静岡県統計年鑑や県勢要覧をはじめ、静岡県の統計、統計ハンドブックなど、各種の統計刊行物を発行し、県民サービスセンターや県総合庁舎等に配架し、閲覧できるようにしています。また、これらの統計刊行物は、静岡県統計協会でも販売もしています。

○ 県民サービスセンター

県庁東館2階の県民サービスセンターでは、各種の統計刊行物など、約15,500冊の統計資料を配架し、インターネットで「統計センターしずおか」を御覧になれない方や刊行物で確認したい方のために、閲覧や貸し出しを行っています。

また、夏休み期間中の小・中学生に統計的な物の見方や考え方等を理解してもらうために、統計やグラフについての相談会を行い、あわせて、統計グラフコンクール優秀作品の展示も行っています。

このほか、県民サービスセンターでは、インターネットによる蔵書検索サービスの提供、県政情報の総合窓口として様々なパンフレットの配架や県政情報コーナー、情報公開の窓口業務も行っています。

○ 県総合庁舎などにも配架

この県民サービスセンターのほか、県民に身近な県総合庁舎（9か所）や、東部及び中部県民生活センターにも統計情報専用コーナーを設置して、静岡県景気動向指数や静岡県推計人口など、主な統計資料を配架し、利活用の促進を図っています。

<配架している主な統計資料>

静岡県景気動向指数、静岡県推計人口、静岡県小売物価統計調査、静岡県鉱工業指数、毎月勤労統計調査(静岡県)、静岡県の四半期GDP速報、静岡県の県民経済計算、しずおかけんの地域経済計算など

3 県統計グラフコンクール

○ 概 要

統計グラフコンクールは、小・中学生等を対象に日常生活の中で観察したこと等を統計グラフに表現し、統計の正しい見方や考え方の普及向上を図るために毎年開催しています。夏休みの小・中学生の自由研究として人気があり、62回目を迎えた平成25年度は、県内から1,175点（全国第5位）の応募がありました。

○ 平成25年度（第62回）静岡県統計グラフコンクールの結果

①審査会

平成25年9月13日（金）に静岡市葵区の県教育会館「すんぷら一ざ」で、審査会が行われ、35点が県知事賞をはじめとする特別賞や県内報道機関賞に輝きました。

優秀作品のうち23点は、第61回統計グラフ全国コンクールに出品され、入選1点、佳作7点と優秀な成績を収めました。

②審査員長の講評

松永広雄 審査委員長（静岡県教育研究会美術教育研究部部長）

「今年は、世界遺産に選ばれた『富士山』についての作品が多く見られ、関心の高さが伺えました。全体的には、子どもらしい表現や絵グラフなど、見ていて楽しい作品やレタリングや構図などの技法レベルの高い作品が多かったように思います。」

③県知事賞受賞作品

《第1部》



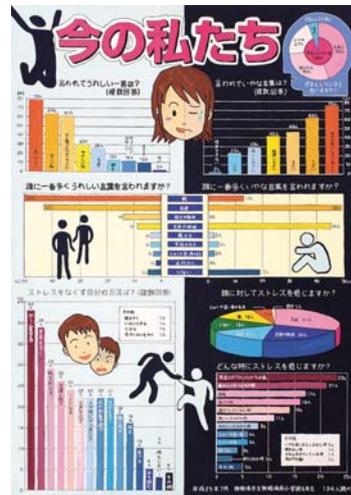
富士市立富士第二小 1年
三浦さんの作品

《第2部》



富士市立富士第二小 3年
三浦さんの作品

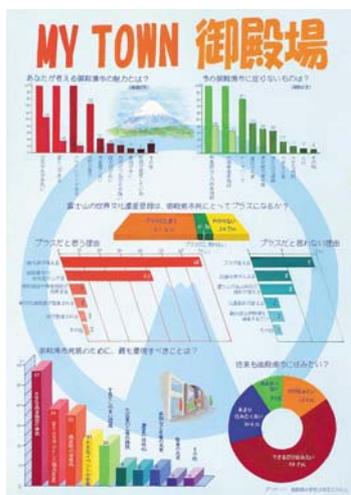
《第3部》



御殿場市立御殿場南小 6年
伊東さんの作品

《第4部》

《パソコン統計グラフの部》



御殿場市立御殿場中 3年
加藤さん、佐野さんの作品



小山町立須走中 3年
菅原さん、長谷部さん、吉田さんの作品

4 Myしずおか日本一

○ 概要

静岡県には、世界遺産「富士山」をはじめ、お茶やみかんなど、約260項目の日本一があります。

このため、静岡県の魅力を再発見するとともに、統計を身近に感じて、興味を持ってもらうために、統計からみて静岡県が日本一のものを集めたホームページ「Myしずおか日本一」を開設しています。

各項目は、4つのキーワード「環境」「暮らし」「産業」「文化・観光」に分類され、統計データに基づく説明を加え、グラフや写真で見やすく分かりやすく解説されています。

また、日本語のほか、英語、中国語（簡体字、繁体字）、韓国語、モンゴル語、ポルトガル語、スペイン語の多言語版のリーフレットも配布しています。

<http://www.pref.shizuoka.jp/j-nol/index.html>



Myしずおか日本一リーフレット

○ 「Myしずおか日本一」の例

①健康寿命

厚生労働省が発表した平成22年の健康寿命によると、静岡県の女性の健康寿命は75.32歳で全国1位、男性が71.68歳で全国2位となっています。

また、この結果を基に本県が独自に算出した男女計でも静岡県は73.53歳で全国1位となっています。

【都道府県別 健康寿命】

(単位：歳)

	女 性		男 性	
順位	都道府県	健康寿命	都道府県	健康寿命
1	静岡県	75.32	愛知県	71.74
2	群馬県	75.27	静岡県	71.68
3	愛知県	74.93	千葉県	71.62

資料 厚生労働省科学研究費補助金 「健康寿命における将来予測と生活習慣病対策の費用対効果に関する研究」

②ガーベラの出荷量

農林水産省の花き生産出荷統計によると平成23年の静岡県のガーベラの出荷量は6090万本で日本一でした。また平成22年の静岡県のガーベラ産出額は17億円で、全国1位となっています。

【ガーベラの出荷量】 (平成 23 年)

順位	都道府県	出荷量 (単位：万本)
1	静岡県	6,090
2	福岡県	2,770
3	千葉県	1,490

資料 農林水産省「平成 23 年産花き生産出荷統計」

③プラモデルの出荷額

経済産業省の工業統計調査によると、静岡県のパラモデルの出荷額は、119 億 9800 万円で日本一です。また、事業所数も 15 事業所で日本一となっています。

静岡県のパラモデル産業は、スーパーカー、ガンダム、ミニ四駆などのヒット商品を生み出し、全国一の生産量を誇り、世界的にも注目されるパラモデルの産地となっています。

【プラモデルの出荷額】 (平成 22 年)

区分	1位 静岡県	その他	全 国
出荷額	11,998	1,086	13,084
全国に占める割合	92%	8%	100%

資料 経済産業省「平成 22 年工業統計」

このほかにも、静岡県には、たくさんの日本一があります。

「My しずおか日本一」を御覧になって、“ふじのくに”の魅力を再発見してみたいかがでしょうか。また、日本一に関する情報も、お待ちしております。

おわりに

統計は現在を知り、未来を展望するために欠くことのできない共有財産です。そして、「統計は利用から始まる」ともいられています。

このため、静岡県では、統計情報ホームページ「統計センターしずおか」の充実を図るとともに、さらなる利便性の向上のため、より見やすく利用しやすい統計情報の提供に努めています。

御意見、御感想などがありましたら、県統計利用課まで、お寄せください。